

平成30年11月22日

うるま市長
島袋俊夫様

うるま市行政改革推進委員会
(補助金審査委員会)
会長 佐藤学

平成30年度うるま市補助金等に関する審査結果について

この度、うるま市行政改革推進委員会規則第2条第3項及びうるま市補助金制度に関する指針に基づき、うるま市が行う補助金等について審査を行ったところでありますが、審査委員会としての提言を別紙「平成30年度うるま市の補助金等に関する審査結果について」のとおり取りまとめましたのでここに報告いたします。

平成30年度

うるま市の補助金等に関する審査結果について

平成30年10月

うるま市補助金審査委員会

目 次

第1	審査の対象と方法	1
	1 審査の対象	
	2 審査方法	
第2	審査結果概要	2
	1 総括	
	2 総合評価内訳	
第3	個別審査結果	4
	・海外移住者子弟研修生受入事業補助金	
	・うるま市社会福祉協議会運営補助金	
	・うるま市与勝地下ダム土地改良区補助金	
	・文化協会補助金	
	・市指定研究校補助金	
	・へき地教育研究補助金	
	・特別支援教育研究会補助金	
	・各種団体育成費補助金	
	・さとうきび収穫機械利用経費補助金	
	・市畜産共進会運営補助金	
◇	付属資料	9

第 1 審査の対象と方法

1 審査の対象

すべての部署の補助金等を対象に、事務局が調製したリストの中から委員会で最終選定を行い、10件の補助金等を対象に審査した。

2 審査方法

審査結果を平成31年度の予算編成に反映させるため、10月までに審査を終えることにした。

審査は個別の補助金等について、事前に事務事業評価票（補助金交付型）、事業報告書、決算書等の資料の提出を求め、担当部署ごとにヒアリングを実施し以下の要領で行った。

- (1) 「うるま市補助金制度に関する指針」に定める「交付基準」を踏まえ評価を行い、「見直し基準」により方向性を判断する。
- (2) 審査対象補助金を1会議あたり、3～4件を目途に審査する。
- (3) 審査では、補助金審査票（事務事業評価票・補助金交付型）及び関連資料を基に担当課ヒアリングを実施する。ヒアリングは、うるま市補助金制度に関する指針に示した補助金交付基準（1. 事業の公共性、2. 事業の効果性（有効性・効率性・適時性）、3. 団体等の適格性など）に基づき、市民の視点から補助の必要性、額の妥当性等を検証する。
- (4) 上記審査に基づき、委員会としての総合評価（A：更に充実させる方向で見直し、B：現状のまま継続、C：効率化・コスト削減の方向で見直し、D：縮小・廃止を前提とした見直し）を決定し、その理由や意見、見直しの方向性等を取りまとめる。

第2 審査結果概要

1 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

うるま市における補助金等のあり方について、市民目線で審査を行うために当委員会が設置され、今回で12回目の審査となった。市民の立場から補助金等を確認していくことは行政改革として大変重要なことであり、補助金等が設定された趣旨や、時代の流れの中で本当に相応しいのか、常に検証していく必要がある。

今回、委員会で選定した10件の補助金について、担当課の事務事業評価票を基にヒアリングを行い、「うるま市補助金制度に関する指針（平成29年3月改訂）」に基づいて「本当に必要な補助金か」「額は妥当か」「運営上の課題はないか」等の視点から審査を行った。審査の結果として、まず始めに総括的な指摘事項として以下のとおり提言する。

(1) 補助金交付要綱の見直しについて

今回審査した中に交付要綱が制定時から見直されていない補助金があった。

補助金は時代の移り変わりや社会ニーズの変化を踏まえ、開始時に想定されていた内容を、現在のものさしで常に客観的に見直す必要があると考える。

5年以上交付要綱を見直していない補助金に関しては、積極的に見直しを行っていただきたい。

(2) 補助対象経費の明確化と補助率の設定について

今回審査した補助金において、補助対象経費が曖昧なものや、補助率が設定されていないものがいくつか見受けられた。

『補助金制度に関する指針』に沿った適切な運用をしていただきたい。また、より実効的な新たな指針の検討についても行っていただきたい。

(3) 補助金審査フォローアップ調査について

30年度の補助金審査と並行して、29年度補助金審査においてC評価・D評価と判定された補助金について、その後の取り組み状況を確認するためのフォローアップ調査を実施した。

フォローアップ調査対象となった5件の補助金のうち、「うるま市観光物産協会補助金」「うるま市社会福祉協議会運営補助金」「民生委員児童委員協議会補助金」「悪

臭緩和剤等購入補助金」の4件の補助金については、担当課が示した対処方針に基づき改善が見られた。

しかし残りの「うるま市商工会補助金」に関しては、審査委員会の意見に対する取り組み内容とは言えず、改善と判断できなかった。

「うるま市商工会補助金」に関しては、今後も審査委員会として注視していきたい。

(4) まとめ

今回の補助金審査において、補助期間の長期化による既得権化、前例踏襲の傾向が見受けられた。

先にも述べたが、社会情勢の変化に伴い、補助金の公益性・妥当性は常に検証していくべきである。担当課は、前例踏襲で補助金を交付し続けるのではなく、各補助金の本来の目的を明確に確認・提示した上でPDCAサイクルに基づき、補助金交付の妥当性を検証していく必要があると考える。また、長期の交付を受けている団体等においても、自ら財源を他に求め、自主運営できるような取り組み方をしなければ、既得権化しているとの誹りは免れないのではないかと考える。担当課・交付団体双方の抜本的な意識改革を促したい。

特定の学校等で活用されている補助金等については、市全体で成果や方針を共有し、より効果的な枠組みを作り出す必要があると思われる。

前年度審査で交付要綱が未制定であることが判明した補助金は、審査意見に基づき交付要綱が制定されたことがフォローアップ調査で確認できた。審査後の具体的な取り組みを確認する仕組みとして、フォローアップ調査がうまく機能していると考える。次年度も引き続きフォローアップ調査を審査に活用していきたい。

2 総合評価内訳

A：更に充実させる方向で見直し	0件
B：現状のまま継続	4件
C：効率化・コスト削減の方向で見直し	5件
D：縮小・廃止を前提とした見直し	1件

第3 個別審査結果

海外移住者子弟研修生受入事業補助金（市民協働課）

「海外移住者子弟研修生受入事業補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

本市出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、文化交流を図っている事業内容については評価できる。

現地市人会に任せている受入子弟の確保に苦慮していることから、市人会の要望や過去の参加者から意見を聞いて、参加希望が増えるような（例えば、受入プログラムの検討や期間の見直し等）方策を探り、事業が継続できるよう取り組んでいただきたい。

うるま市には沖縄の原風景が残る島しょ地域があるため、子弟の受入先としての活用も検討していただきたい。

うるま市社会福祉協議会運営補助金（福祉総務課）

「うるま市社会福祉協議会運営補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

福祉ニーズの多様化により今後も業務量の増加が予想されるため、事務事業の内容把握や見直し、社協職員の適正配置等、根本的な見直しを図る必要がある。社会福祉協議会自身も危機感を持って事業効率化に取り組まなければ、今後人材確保も難しくなる中で、福祉サービスの停滞に繋がらないか、非常に懸念される。

今回もC評価とするが、予算削減ではなく、担当課と社会福祉協議会が密に連携し、効率化に取り組んで頂きたい。

うるま市与勝地下ダム土地改良区補助金（農水産整備課）

「うるま市与勝地下ダム土地改良区補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

与勝地下ダム水使用料金の未収金件数が年々増えていることから、改善が必要と考える。農業者の高齢化や農業離職者の増加等が要因とのことだが、補助金交付団体であり、また受益者負担の観点からも、未収金を削減していくため、担当課が団体に対して強く指導する必要があると考える。

水使用拡大のための他地区への延伸や、設備老朽化に伴う維持管理コストの増加が今後懸念されることについて、担当課は団体と主体的に関わり、関係課との連携も図りながら、利用拡大に繋げるニーズ把握を行っていただきたい。

文化協会補助金（生涯学習文化振興センター）

「文化協会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

文化協会が実施している事業の有益性は認めるが、チケット購入額が年々減少していることから、先細りしていくことへの懸念がある。

若者が積極的に参加して発表できるようなイベントを実施することや、SNS 等を使って広報を工夫することも必要ではないか。

市の文化活動の活性化や、後継者育成の観点から、若い世代が参加できるような活動内容の見直しについても、文化協会に対し積極的に働きかけていただきたい。

市指定研究校補助金（指導課）

「市指定研究校補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

指定校で学力の向上が見られることから、本補助金の一定の効果があると考え B 評価とした。

この成果をより生かせるように、指定校以外でも研修等で共有することや、授業だけでカバーできない学習習慣にも目を配ることが、学力向上につながると思う。

へき地教育研究補助金（指導課）

「へき地教育研究補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「D」：縮小・廃止を前提とした見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

事業費のほとんどがトナー代（インク代）となっており、現在の補助金の交付のへき地教育としての内容は適切ではないと考える。

前例踏襲でこのような補助金として交付してきたと思われるが、へき地教育に本当に必要な内容を精査した上で、へき地の子供たちにとって適切な学習支援となる補助の構築を早急に求める。

特別支援教育研究会補助金（指導課）

「特別支援教育研究会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

特別支援学級の教育の充実に寄与していることから、B評価とした。

しかし、研究会への補助金という現在の形を続けることが適切なのか、事業内容が教育の充実に直結するだけに、担当課としてしっかりと検討していただきたい。

各種団体育成費補助金（生涯学習スポーツ振興課）

「各種団体育成費補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

前年度に引き続き審査したが、今年度の審査においても、補助金を受けている各種団体の交付根拠が不明確である。

現在の交付要綱では、本補助金の交付要件に該当する団体の定義があいまいなため、定義の見直しから取り組むべきだと考える。その上で、補助金を必要としている団体を広く公募し、補助金が必要である根拠資料の提出を求めた上で、内容を審査する会議を開き、交付団体を決定する、というような仕組みの構築が必要である。

団体育成という趣旨から考えると、いつまでも同一の団体が補助金を受けるのは適切ではないため、同一団体の補助期間の上限を設けることも検討すべきではないか。

様々な団体へ補助金を活用して欲しいことから、予算削減という意味ではなく、透明性のある選定の仕組みへ改善していただきたいという期待を込めてC評価とした。

さとうきび収穫機械利用経費補助金（農政課）

「さとうきび収穫機械利用経費補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

ハーベスター利用者への補助金である本事業は、沖縄の基幹作物であるさとうきびの収穫量の増加や、高齢化する農家の収穫作業の効率化に寄与している。

今回の審査では一定の効果を認めたということで B 評価としたが、今後も収穫面積と利用者が増えるのであれば、効果について検証を行った上で、補助額の見直しについても検討していただきたい。

さとうきび農家の減少傾向を鈍化させるような効果がある形での事業展開を、担当課が主体的に行っていただきたい。

市畜産共進会運営補助金（農政課）

「市畜産共進会運営補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

補助金交付要綱が平成 17 年に制定されて以降、一度も改正がなく、対象経費として食糧費があることから、要綱の見直しが必要だと考える。

決算書の内容も、うるま市からの補助金と各 JA の負担金がどのように使われているのか明記されておらず、そもそも負担金の算出根拠も不明である。反省会費が決算書に記載されていることから、補助金を充てたのか、負担金を充てたのか、内訳が分かるよう記載しなければならない。

毎年度の監査についても、JA の支店長だけが監査役を務めていることも疑問がある。このような不透明な形の補助金交付では、市民の理解を得られない。市として監査・監督にも関わり、主体性を持って共進会の運営を改善していただきたい。

◇付属資料

平成30年度 うるま市補助金審査委員会審査経過

日 程	事 項	内 容
5月31日（木）	補助金審査事前検討会	30年度補助金審査方針の確認
7月12日（木）	第1回補助金審査委員会	審査対象補助金の選定
8月17日（金）	第2回補助金審査委員会	個別補助金について審査【3件】
8月30日（木）	第3回補助金審査委員会	個別補助金について審査【4件】
9月13日（木）	第4回補助金審査委員会	個別補助金について審査【3件】
10月25日（木）	第5回補助金審査委員会	補助金審査意見の確認【10件】 フォローアップ調査の確認【5件】
11月22日（木）	平成30年度補助金等に関する 審査結果について	補助金審査結果を市長へ報告

うるま市補助金審査委員会委員名簿

	区分	氏名	役割等
1	委員長	<small>さとう まなぶ</small> 佐藤 学	学識経験者
2	副委員長	<small>ふくはら とおる</small> 福原 徹	公募委員
3	委員	<small>とぐち ひろゆき</small> 渡久地 博之	公募委員
4	委員	<small>まちだ そうこう</small> 町田 宗康	公募委員
5	委員	<small>たかえす やすよし</small> 高江洲 康愛	公募委員
6	委員	<small>はまばた よしまさ</small> 濱端 義正	公募委員
7	委員	<small>ふじた やすえ</small> 藤田 保枝	公募委員
8	委員	<small>みやざと あやこ</small> 宮里 亜矢子	公募委員